

平成26年度 施政方針



基本的方針

はじめに

私は、7年にわたり、市政の舵取りを担わせていただきましたが、この平成26年度は、任期2期目の最終年度になります。

市長就任以来、「活力みなぎる弥富」のまちづくり実現を目指し、総合計画に掲げられた項目の実現と、新たに発生した課題の解決に、市民の皆さまとの協働で前向きに取り組んでまいりました。本年度も、こうした課題をしっかりと取り組んでまいります。

さて、我が国においては、最優先課題として経済再生に向けた取り組みが進められており、経済情勢好転への兆しが見られるものの、4月からの消費税増税や今後の社会保障制度の見直しなど、国民生活に影響の大きな課題が山積しており、我が国の先行きは引き続き不透明な状況にあります。

本市においても、財政の根幹をなす市税収入に若干の増加が見込まれるものの、歳出面では医療、介護などの社会保障関係経費が増大し続けていることに加え、公共施設の建設及び長寿命化などの財政負担が増加し、今後も厳しい財政状況は続くものと思われま。こうした状況のもとでも、私たちは、子どもから高齢者まで誰もが安全で安心して笑顔で暮らせる行政サービスを提供していくためには、知恵を絞り、創意工夫を凝らし、前例に縛られない

徹底した歳出見直しを行うとともに、独自財源である税収を安定的に確保する必要があります。そして、そのためには、定住人口の増加、特に働く世代である生産年齢人口の増加が不可欠となっております。

我が国全体が人口減少傾向にある今日、定住人口を増加させることは容易なことではありません。

本市においては、快適で安全・安心なまちづくりのための基盤整備や防災・防犯施策をはじめ、子育て支援対策を最重要施策として拡充を図り定住人口の増加に努めてまいりました。これからは、さらに将来を担う子供たちの体力・学力向上も視野に入れ、教育環境の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

定住と交流、活力を生むまちづくり

道路網の整備

広域幹線道路から県道・市道に至る道路ネットワークの整備促進は、極めて重要な課題であります。本市の新たな活力醸成の核となる港湾地域の整備と連携した都市計画道路、名古屋第三環状線や弥富名古屋線、本市の東西を結ぶ日光大橋西線、主要地方道名古屋十四山線につきましても、市域全体の均衡ある発展のため、今後も整備促進を関係機関へ引き続き要望してまいります。また、橋梁など道路施設の高齢化

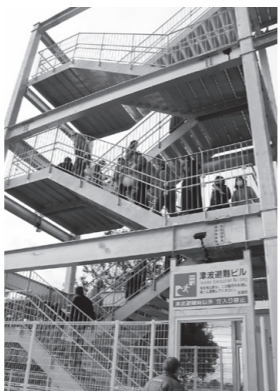


コミュニティバス(きんちゃんバス)

コミュニティバスの運行につきましても、交通不便地域の解消や高齢者などの外出機会の確保などを目的として運行を行っているところであり、これまで、運行時間やルートの見直しを行ってまいりましたが、利用者の伸びは微増であり、効果的な利用者の増加には結びついていません。今後も、費用対効果を念頭に運行方法など「地域公共交通活性化協議会」を通して、より良い運営のあり方を検討してまいります。

快適で安全安心なまちづくり

防災対策



十四山中学校屋外避難階段

平成25年度には、自主防災会の全体会を開催し、防災・減災知識の修得と連携を図りました。平成26年度も引き続き開催し、活性化を図ってまいります。また、防災リーダーの養成やまちづくり出前講座などを通しての啓発活動を行ってまいります。

また、避難場所の確保については、南部地区防災センターが開所し、十四山中学校の屋外避難階段を設置しました。平成26年度には、白鳥小学校の北棟屋上を避難できるよう整備いたします。更には、十四山保育所に避難用外階段設置等工事の設計を実施してまいります。平成27年度以降も、計画的な整備に努めてまいります。

防犯・交通安全の取り組み

自分達の力で犯罪の発生に歯止めをかけようと、地域の皆さまが連携して、防犯パトロールなどの自主的な防犯活動を行う取り組みが行われ、犯罪防止



青色防犯パトロール車

下水道整備

公共下水道事業につきましては、引き続き、国道1号南側の前ヶ須地区、平島北部地区の整備を推進するとともに、北部の住宅地域の整備促進を図るべく、かおるヶ丘団地、ポプラ台団地の整備に着手する予定です。今後も、

健やかでやさしいまちづくり

健康づくり・医療体制の充実

胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん、前立腺がん検診につきまして、ご希望の方全員が検診できる体制を引き続き整えてまいります。

予防接種事業につきましては、引き続き乳幼児の定期予防接種費用を全額公費負担とし、また高齢者インフルエンザおよび高齢者肺炎球菌ワクチン接種につきましては、一部公費負担として実施してまいります。

医療体制の充実につきましては、地域ニーズを踏まえた地域医療支援病院として、地域医療を支える基幹医療機関である海南病院に対し、引き続きこの地域全体で財政支援をしてまいります。平成25年9月に救命救急センターおよび地域中核災害拠点病院の指定を受け、第三次救急医療病院としての役

地域福祉の充実

高齢者や障がい者の方が地域で支え合いながら安心して暮らせるよう、市および県、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと連携を図り、総合的な支援を引き続き進めてまいります。高齢者や障がい者などの方を支える地域づくりへの取り組みとして、昨年10月に立ち上げました「さざえあいセンター」の組織の充実を図ってまいります。

子育て支援の取り組み



新白鳥保育所イメージ図

保育サービスの充実につきましては、新白鳥保育所建設事業の本体工事を施行し、平成27年1月から保育が開始できるよう進めてまいります。消費増税